

講義名	対)卒業研究				
講義コード	54405	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 金曜日 4時限
担当教員	辻本 千春			備考	

学部・学科	演習分野
全学科	観光マネジメント論

**概要説明**

研究演習、研究演習では、「社会共創」プログラムを通して、観光による地域活性化や問題解決型プロジェクトを行ってきました。卒業研究では、これまでの演習で学んだことや、興味を持った課題、あるいは自分で研究したいテーマを決めて調査研究を行い「卒業論文」を完成させます。

- ・4月～7月 テーマの決定  
構成を決めてゼミで発表、ディスカッション  
序論を完成させる
- ・8月～9月 アンケートや文献調査、フィールドワークを実施して本論のデータを集める  
本論を構成に従って作成する
- ・10月 本論を要約してゼミで発表する。
- ・11月～12月 結論まで書く  
必要に応じて個別指導を行い12月下旬の提出に向けて完成させる。

\*ただし、ゼミが「観光マネジメント」、「観光マネジメント」と「観光」に関するゼミのため、「観光」に少ししかかわるテーマで書いてください。

**主な卒業論文のタイトル**

これまでの卒論指導テーマ（一部）

- ・2021年度卒業研究
  - ・21世紀のスマホ進化の考察
  - ・アニメによる地域活性化の現状と展望 - 聖地巡礼におけるコンテンツツーリズムの可能性-
- ・2020年度卒業研究
  - ・日中両国間の情報発信の問題点
  - ・沖縄におけるキャンプツーリズムについての考察
- ・2019年度以前卒業研究（前任校）
  - ・瀬海民族バジャウ族の発展 サステナブル・ツーリズムから見たセブ島に住むバジャウ族の変化
  - ・SNSによる新しい旅の形 マンホールの蓋が生み出す観光の力
  - ・三重県伊賀市における伊賀流忍者の観光の位置づけ
  - ・訪日中国人観光客の消費動機の変化と今後のインバウンド観光について
  - ・激動の観光業界がもたらす共有経済 - 共有経済の核Airbnbの研究を中心に -
  - ・2.5次元演劇のコンテンツ・ツーリズム化について - 2.5次元演劇のツーリズムにおける立ち位置 -
  - ・観光におけるSNSマーケティングの重要性 - 心理学的観点から見る“インスタ映え”の現実
  - ・訪日外国人観光客と日本人から親しまれるゲストハウスの提案 - 自身の夢をゲストハウスに託して -
  - ・韓国観光政策に関する考察 - 韓国の観光政策と日本の観光政策の比較 -

**教員よりの要望**

- ・卒論は大学の学びの集大成です。
- ・就活と重なる人もいますが、時間を調整して、卒論を完成させましょう。

**選考方法**

選考方法	
------	--

評価方法	・出席状況、取り組み姿勢、協力態勢、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。
------	--

教員英字氏名	研究室
Tsuimoto Chiharu	5421

最終学歴	大阪市立大学大学院創造都市研究科後期博士課程修了
------	--------------------------

学位	博士：創造都市
----	---------

**主な研究活動・社会活動・研究業績**

**研究活動**  
 ・研究テーマは「観光によるまちづくり」「地域活性化」です。特に、メディカルツーリズム、ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム等のニューツーリズムや「インバウンド」による地域活性化を研究しています。現在はオオルレ、「済州オオルレ」「九州オオルレ」について調査研究しています。

**社会活動（経歴）**  
 ・泉佐野りんくう国際観光振興協議会 理事  
 ・泉佐野市観光推進プロモーション協議会 理事  
 ・日本観光研究学会 前理事、関西支部 幹事  
 ・京都府スポーツ観光推進プラットフォーム アドバイザー  
 ・大分県竹田市 竹田市観光振興 アドバイザー など

**研究業績（著書／論文）**  
 ・「入門観光学」、共著、平成30年4月、ミネルバ書房、担当：第15章「メディカルツーリズム」  
 ・「観光学入門」、共著、平成29年3月、晃洋書房、担当：第3章「国際観光学概論」  
 ・「地域創造のための観光マネジメント講座」、共著、平成28年11月、学芸出版社、担当：第4章「ヘルスツーリズムと地域創造」  
 ・「一からの観光事業論」、共著、平成28年3月、中央経済社、担当：第15章「地域のインバウンド事業 九州における訪日外国人誘客プロジェクト「九州オオルレ」」  
 ・「都市構造と都市政策」、共著、平成26年4月、古今書院、担当：第21章「医療・福祉とまちづくり」  
 ・ヘルス／メディカル・ツーリズムによる観光地構造転換と地域活性化に関する研究「温泉地／旅館の高付加価値化による再生」、平成26年3月、単著、博士学位論文  
 ・ヘルスツーリズムの拠点としての旅館活用 健康系付加価値提供による新たな地域活性化モデル（査読付論文）、平成25年3月、単著、「日本国際観光学会論文集（第20号）」

趣味・特技	ステンドグラス製作、庭いじり
-------	----------------

所属	人間社会学部 観光学科
----	-------------

**所属学会**

日本観光研究学会（前理事）  
 日本観光学会関西支部 幹事  
 日本国際観光学会  
 NPO観光力推進ネットワーク・関西

**専門分野**

観光マネジメント、観光によるまちづくり、ニューツーリズム（スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム）、国際観光（インバウンド）

**担当科目**

リゾート論、地域・都市集客論、観光政策論、観光学原論、観光学へのいざない  
 研究演習、卒業研究、自己発見とキャリア開発 A、B、業界研究

**備考**

・（土）（日）にプロジェクト活動をすることもあります（早目に予定します）し、その移動に伴う交通費が発生することもあります。  
 ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり  
 ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身に付けた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学院で学んだ「観光による地域活性化」について一緒に考えます。また、タイのバンコクでの4年間の駐在経験をもとに、海外で働くことの意味や海外から日本を見ることの大切さも伝えます。